



# 平成30年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月3日

上場会社名 カネコ種苗株式会社

上場取引所 東

コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役財務部長 (氏名) 長谷 浩克

TEL 027-251-1619

四半期報告書提出予定日 平成29年10月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	13,794	4.2	345	14.0	371	13.9	233	3.5
29年5月期第1四半期	13,243	3.1	303	32.4	326	33.2	225	29.1

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 260百万円 (15.9%) 29年5月期第1四半期 224百万円 (27.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	19.87	
29年5月期第1四半期	19.20	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第1四半期	38,489	17,769	46.2	1,513.45
29年5月期	43,369	17,686	40.8	1,506.34

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 17,769百万円 29年5月期 17,686百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		11.00		15.00	26.00
30年5月期					
30年5月期(予想)		11.00		15.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	59,500	2.9	2,050	1.7	2,150	1.6	1,450	2.6	123.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年5月期1Q	11,772,626 株	29年5月期	11,772,626 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年5月期1Q	31,555 株	29年5月期	31,555 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年5月期1Q	11,741,071 株	29年5月期1Q	11,741,411 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年6月1日～平成29年8月31日）におけるわが国経済は、一部で人手不足感が顕在化するなど雇用環境の改善が続き、企業収益も堅調を維持するなど景気拡大が継続していると言われていたものの、個人消費は力強さを欠き、新興国の景気下振れや地政学リスクの高まり等のマイナス要因が、わが国経済へ及ぼす影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況となっております。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、夏の天候不順などによる農産物の作柄不良が懸念されます。

このような状況のなか当社グループの業績は、種苗事業や農材事業が順調に推移したことなどにより、売上高137億94百万円で前年同四半期比5億50百万円（4.2%）の増収となり、利益面でも営業利益3億45百万円で前年同四半期比42百万円（14.0%）増、経常利益3億71百万円で前年同四半期比45百万円（13.9%）増、親会社株主に帰属する四半期純利益2億33百万円で前年同四半期比7百万円（3.5%）増となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### 種苗事業

種苗事業においては、牧草種子関係は飼料用トウモロコシの輸出や芝草種子の販売増に伴い増収となりました。野菜種子関係ではタマネギやキャベツの輸出が減少したものの、採算性の向上や前期の第4四半期より新規に連結を開始したフィリピン所在の子会社（フィリピンナス・カネコ・シーズ・コーポレーション）の業績が付加されたことに伴い堅調に推移いたしました。種苗事業全体で売上高20億44百万円で前年同四半期比4.1%増となり、セグメント利益も4億20百万円で前年同四半期比18.3%増となりました。

#### 花き事業

花き事業においては、家庭菜園用野菜苗や花苗の販売が増加したものの、需要低迷の影響などから家庭園芸資材の販売が減少し、売上高17億53百万円で前年同四半期比微減となり、セグメント損失も46百万円（前年同四半期のセグメント損失は42百万円）と損失が拡大いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント利益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

#### 農材事業

農材事業においては、茎葉除草剤等を中心とした積極的な営業展開やシェアアップにより、売上高67億30百万円で前年同四半期比3.3%増となり、セグメント利益も1億38百万円で前年同四半期比15.4%増となりました。

#### 施設材事業

施設材事業においては、養液栽培関係で前年の震災復興需要の反動減や、温室工事完工高の減少があった反面、新規得意先の積極的な獲得により一般農業資材の販売が増加し、売上高31億76百万円で前年同四半期比7.2%増となりました。しかしながら、採算性の良い養液栽培・温室工事関係が低調に終わった影響などから、セグメント利益は63百万円で前年同四半期比26.4%減となりました。

#### 造園事業

造園事業においては、当第1四半期に法面工事等が前倒完工したことなどから、売上高90百万円で前年同四半期比110.1%増となり、セグメント損失は561千円（前年同四半期のセグメント損失は4百万円）と損失が縮小いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、384億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して48億80百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金や商品の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、207億19百万円となり、前連結会計年度末と比較して49億63百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

なお、上記「資産の部」と「負債の部」の状況は、当社グループの事業が主に第4四半期に繁忙期を迎えることに伴うものであり、毎期同様の状況となっております。

「純資産の部」の残高は、177億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して微増となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月11日の「平成29年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,702,589	4,381,315
受取手形及び売掛金	22,200,662	17,459,546
商品	6,774,347	6,079,448
その他	1,500,654	2,279,630
貸倒引当金	△21,792	△17,769
流動資産合計	35,156,461	30,182,171
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,196,523	4,196,523
その他（純額）	1,680,338	1,787,821
有形固定資産合計	5,876,862	5,984,345
無形固定資産	44,955	42,079
投資その他の資産		
その他	2,303,425	2,293,017
貸倒引当金	△12,619	△12,613
投資その他の資産合計	2,290,806	2,280,403
固定資産合計	8,212,624	8,306,829
資産合計	43,369,085	38,489,000
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,201,137	14,521,885
短期借入金	—	3,250,000
未払法人税等	397,090	131,128
その他	1,208,135	955,394
流動負債合計	23,806,363	18,858,408
固定負債		
退職給付に係る負債	1,640,457	1,635,190
役員退職慰労引当金	117,750	112,700
その他	118,495	113,144
固定負債合計	1,876,702	1,861,035
負債合計	25,683,066	20,719,444
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,221	1,765,221
利益剰余金	14,158,524	14,215,292
自己株式	△21,497	△21,497
株主資本合計	17,393,515	17,450,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	639,772	657,037
為替換算調整勘定	△32,621	△34,691
退職給付に係る調整累計額	△314,646	△303,072
その他の包括利益累計額合計	292,504	319,273
純資産合計	17,686,019	17,769,556
負債純資産合計	43,369,085	38,489,000

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	13,243,935	13,794,905
売上原価	11,201,124	11,608,454
売上総利益	2,042,811	2,186,451
販売費及び一般管理費	1,739,272	1,840,460
営業利益	303,538	345,991
営業外収益		
受取配当金	15,431	15,623
受取家賃	14,216	15,591
その他	5,185	5,787
営業外収益合計	34,833	37,002
営業外費用		
支払利息	6,960	5,709
為替差損	5,106	4,668
その他	—	1,075
営業外費用合計	12,067	11,453
経常利益	326,303	371,540
特別損失		
固定資産処分損	28	21,670
投資有価証券売却損	—	3,375
特別損失合計	28	25,046
税金等調整前四半期純利益	326,275	346,494
法人税等	100,856	113,183
四半期純利益	225,418	233,310
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,418	233,310

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	225,418	233,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,314	17,264
為替換算調整勘定	—	△2,069
退職給付に係る調整額	11,220	11,574
その他の包括利益合計	△1,093	26,769
四半期包括利益	224,324	260,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224,324	260,080

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年6月1日 至平成28年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,963,924	1,757,987	6,514,653	2,964,291	43,080	13,243,935
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,712	45	953	465	-	12,175
計	1,974,636	1,758,032	6,515,606	2,964,756	43,080	13,256,110
セグメント利益又は損失（△）	355,791	△42,740	119,792	86,853	△4,478	515,218

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	515,218
全社費用（注）	△211,680
四半期連結損益計算書の営業利益	303,538

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年6月1日 至平成29年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	2,044,822	1,753,037	6,730,096	3,176,454	90,496	13,794,905
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,863	95	13	376	60	11,407
計	2,055,685	1,753,132	6,730,109	3,176,830	90,556	13,806,312
セグメント利益又は損失（△）	420,948	△46,386	138,234	63,891	△561	576,126

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	576,126
全社費用（注）	△230,135
四半期連結損益計算書の営業利益	345,991

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。